

農業振興と 地域貢献活動

6

当会は、持続可能な地域農業・地域社会の実現のため、「SDGs宣言」を策定し、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、事業活動に取り組んでいます。

また、「食」と「農」を通じた農業振興・地域貢献等に向けた取組みを継続するほか、SDGsを組織行動につなげ、持続可能な社会の実現に向けて取組を進めるとともに、気候変動に対する取組を実践していきます。

農業振興への取組み

◆国消国産の重要性

コロナ禍での食料輸出制限をきっかけに、国内で消費する食料は可能な限り国内で生産する「国消国産」の重要性が再認識されています。

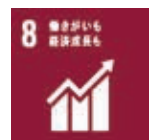
「食」と「農」を基軸とするJAグループでは、「食農バリューチェーン」の構築などを通じ「国消国産」が実現できるよう、一体となって取り組んでいます。



◆農業関係団体への参画

農業者に対する各種研修会の開催、技術支援等、地域農業・農村の活性化を図るため、JAや市町行政により構成される7つの「地域農業センター」への事業支援を行っています。

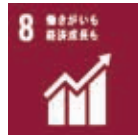
また、「滋賀県農業法人協会」への加盟を通じて、大規模法人における先端ニーズの汲み取りや情報交換を行っています。



◆担い手のニーズに応えるための取組み

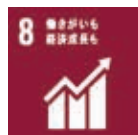
地域の農業者との“つながり”を強化するため、県内ＪＡに設置された「担い手金融リーダー」を中心に“３ステップ運動”を展開し、担い手農業者への訪問活動を行っています。そのなかで、担い手農業者における経営課題の解決ならびに農業所得向上のためのソリューションを提案する「担い手コンサルティング」にも取り組んでいます。（令和７年度 ７先導入）

また、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、資本供与の枠組みを整備しており、「アグリシードファンド」「担い手経営体応援ファンド」等、担い手農業者のニーズに応じたファンドについてもご用意しています。



◆新規就農者交流会の開催 ～新たな“つながり”を求めて～

令和７年６月２６日（木）に、営農技術や販路等、様々な悩みを抱えている県内在住の新規就農者を対象に、情報共有や情報交換の場として「新規就農者交流会」をはじめて開催しました。当会のほか参加団体による情報提供や就農者によるパネルディスカッション・意見交換を通して就農者間の親交を深める場となりました。



地域に対する資金供給等への取組み

◆ 地域からの資金調達の状況

当会の令和７年度末の貯金残高（譲渡性貯金を含む）は１兆２,４１８億円となっており、うち１兆２,２７２億円は県内ＪＡよりお預かりしています。

また、組合員を含めた地域の皆さまの計画的な資産作りをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金、投資信託等の金融商品の取扱いをしています。



◆ 地域に対する資金供給の状況

当会の令和７年度末の貸出金残高は１,４４８億円となりました。

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員をはじめ農業に関連する企業・団体、及び、県内の地場産業や団体、地方公共団体等にご利用いただいています。



地域密着型金融への取組み

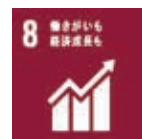
◆農業者等の経営支援に関する取組み方針

当会は、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「当会の最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当会の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け取組んでまいります。



◆豊富な農業資金による農業者応援

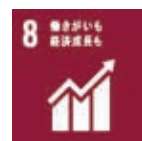
幅広く農業者のニーズに対応できる「アグリマイティー資金」を始めとした農業資金メニューにより、農業者を資金面で応援しています。併せて、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いも行っています。



◆JAバンク独自の農業者支援

農業者の借入負担を軽減し、経営をバックアップするために農林中央金庫とともに農業資金の借入れに対し、利子補給を行っています。さらに、農業近代化資金については、保証料に対しても保証料助成を行い、農業者の所得向上につながる取組みを行っています。

また、生産資材価格の高騰等の影響を受けている農業者への貸付として災害緊急資金（アグリマイティー資金）をご用意しております。



文化的・社会的貢献に関する取組み

◆『滋賀県学童野球選手権大会』および『SFA U-11サッカー選手権大会・J Aバンク滋賀杯 新人戦少年サッカー大会』への協賛



湖国で次世代を担う子どもたちの健全な育成を願い、地域スポーツ振興を推進する目的で学童野球や少年サッカーの大会に対して協賛を行っています。



◆小学生向け食農教育教材本の贈呈

J Aバンク食農教育応援事業として、次世代を担う子どもたちに、農業と食の問題や環境問題、農業と経済のかかわりなど、農業への理解を深めてもらうために教材本『農業とわたしたちの暮らし』を作成し、県内の小学校5年生を対象に贈呈しています。



◆びわこルールキッズへの協賛

琵琶湖固有の自然を取戻す活動として開催される『びわこルールキッズ』（滋賀県主催の外来魚のノーリリースの普及目的で開催される釣りコンテスト）に対して、参加者へ進呈するオリジナルグッズの提供を通じて協賛しています。



◆子どもの虐待防止啓発活動の取組み

子どもの虐待の現状を社会に広く知らせ、虐待から子どもを救うためのオレンジリボンキャンペーンに参画しています。毎年11月～12月にかけてJAグループ滋賀役職員約4,000名がオレンジリボンピンバッジを着用し、子どもの虐待防止啓発活動に取組んでいます。



◆「子ども食堂」支援の取組み

平成29年度より、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会を通じて滋賀県内の「子ども食堂」を支援しています。

令和7年11月29日（土）には、『子ども食堂フェスタ 2025』のイベント運営に協力し、「国消国産」のPRや来場者に食農に関わるクイズの実施、釜で炊いた近江米の配布など、食育の場を設けました。

また、令和8年3月9日（月）には、県内の子ども食堂に、JA直売所で利用できる商品券を寄贈しました。



◆聾話学校への園芸用品の贈呈

学生の門出へのお祝いに、滋賀県立聾話学校の卒業式に園芸用品を贈呈しています。



◆日本赤十字社の献血への積極的参加

令和7年8月5日(火)・7日(木)、令和8年2月6日(金)・18日(水)に、JAビル滋賀およびJA滋賀コープサービスビルにおいて、滋賀県赤十字血液センターの移動採血車による献血活動を実施し、多くの職員が献血に協力しました。



◆環境への配慮

環境保全およびエネルギーの有効活用を目的として、エコカーの導入など、地球環境に配慮した取組みを実践しています。

また、環境に配慮した住宅・マイカーを購入するJAバンクローン利用者を支援するための助成金交付制度を実施しています。



◆事務所周辺の清掃活動

職員がグループを編成し、定期的に事務所周辺の清掃活動を実施しています。



◆ペットボトルキャップの回収

JAビル滋賀および事務センタービルに回収箱を設置し、ペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。

回収したキャップをリサイクル業者へ引渡すことで、業者でリサイクル素材へ加工・売却され、その売却益が「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」に寄付され、開発途上国の子どもたちへのワクチン支援へとつながります。



◆エコマーク付き事務用品の購入

環境に配慮したエコマーク付き事務用品を購入し、環境保全や持続可能な社会づくりに貢献しています。



◆健康しがの国スポ・障スポ応援の取組み

J Aグループ滋賀は、「わた S H I G A 輝く国スポ・障スポ」の開閉会式で提供された式典弁当に、近江米や近江牛の食材および近江の茶の提供を行いました。



◆滋賀の子どもたちの健やかな育ちを守る取組み

J Aグループ滋賀は、子どもたちが健やかに育つ暮らしやすい社会の実現を目指して、滋賀県とともに取り組んでいます。



地域金融機関としての取組み

◆特殊詐欺等未然防止に向けた取組み

特殊詐欺等による組合員等利用者への被害を未然に防止するため、滋賀県警察との連携協定を締結し、不正利用口座に関する情報連携や、テレビCM・ポスター等の共同制作を行っています。加えて、フィッシング詐欺による被害拡大を防止するため、インターネットバンキングの全利用者に対してダイレクトメールを発送するなど、特殊詐欺等への注意喚起を促す啓発活動に取り組んでいます。一定条件のもとでATMやインターネットバンキングの一部機能の利用を制限するとともに、新たに不正利用を検知するシステムを導入するなど、被害の未然防止対策に努めています。



◆ATMネットワークの充実

JAバンクのキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のJAバンクのATMによるご入金、ご出金、残高照会サービスを終日無料でご利用いただけます。

また、JFマリンバンク、三菱UFJ銀行の提携ATMによる平日、日中時間帯のご出金・残高照会のサービスも無料でご利用が可能です。

◆非対面チャネルの強化

PayPay・メルペイ・FamiPay・J-Coin Payのキャッシュレス決済サービスと連携し、JAバンクの口座から即時チャージ（入金）が可能となる「即時口座振替サービス」や、JAバンクと連携した収納機関のホームページから、インターネットを通じて口座振替の手続きが可能となる「Web口座振替受付サービス」をご利用いただけます。その他にも、払込票等に記載のバーコードや地方税統一QRコード（eL-QR）を読み込むことによって、スマートフォンで税金等をお支払いいただける「PayB機能」をJAバンクアプリを通してご利用いただけます。

また、JAバンクアプリにて口座残高や入出金明細等をご確認いただければ、盗難紛失のリスクがなく、紙資源などを節約でき環境にやさしい「通帳レス口座」もご利用いただけます。

さらに、JAバンクアプリ プラスでは、1つのアプリでJAネットバンク機能や振込・振替、住所・電話番号変更などの手続きがいつでもご利用いただけます。

利用者ネットワーク化への取組み

◆「滋賀県ＪＡグラウンド・ゴルフ大会」の開催

県内ＪＡでは、高齢者の健康づくりや交流のお手伝いをするため、ＪＡで年金を受取指定されている方々を対象に「年金友の会」等を組織し、様々なイベントを実施しています。

ＪＡバンク滋賀では、その「年金友の会」活動支援の一環として、組合員・利用者の健康増進と元気で活力のある地域社会の実現に寄与することを目的に令和７年１２月１０日（水）県民共済ドーム長浜において、「滋賀県ＪＡグラウンド・ゴルフ大会」を開催しました。



◆各種無料相談会の実施

県内ＪＡをご利用の方を中心に、相続や年金に関する無料相談会を実施しています。相続・年金相談のいずれも、専門知識を有した顧問税理士や社会保険労務士等を派遣し、令和７年度は、県内合計１９６回開催しました。



健康経営の取組み

◆健康経営優良法人２０２６に認定

従業員の健康は企業の重要な資産であるとの認識のもと、ワークライフバランスやメンタルヘルスケアの推進など当会全体で健康づくりに取り組んでいます。

